

みずほCustomer Desk Report 2018/04/10号(As of 2018/04/09)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.89
TKY 9:00AM	106.95	1.2271	131.25	1.4091	0.7678
SYD-NY High	107.20	1.2331	131.99	1.4163	0.7711
SYD-NY Low	106.62	1.2261	131.11	1.4080	0.7652
NY 5:00 PM	106.80	1.2321	131.49	1.4130	0.7698
NY DOW	23,979.10	46.34	日本2年債	-0.1500	▲1.00bp
NASDAQ	6,950.34	35.23	日本10年債	0.0300	▲1.00bp
S&P	2,613.16	8.69	米国2年債	2.2804	1.22bp
日経平均	21,678.26	110.74	米国5年債	2.5968	1.01bp
TOPIX	1,725.88	6.58	米国10年債	2.7799	0.55bp
シカゴ日経先物	21,625	165.00	独10年債	0.5025	0.50bp
ロンドンFT	7,194.75	11.11	英10年債	1.4045	1.10bp
DAX	12,261.75	20.48	豪10年債	2.6655	0.40bp
ハンセン指数	30,229.58	384.64	USDJPY 1M Vol	7.40	0.16%
上海総合	3,138.29	7.18	USDJPY 3M Vol	7.65	▲0.10%
NY金	1,340.10	4.00	USDJPY 6M Vol	8.03	▲0.07%
WTI	63.42	1.36	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	194.97	2.72	EURJPY 3M Vol	7.93	▲0.06%
ドルインデックス	89.84	▲0.27	EURJPY 6M Vol	8.31	▲0.06%

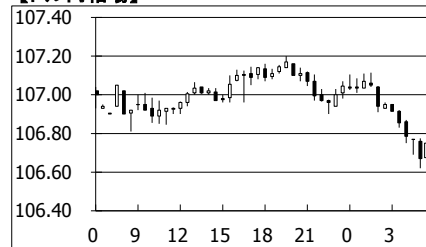
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月9日	19:00	日 黒田日銀総裁 記者会見「出口のタイミングや手順を検討する局面にない」		
4月10日	01:45	欧 プラートECB専務理事 講演「基調的インフレ圧力押し上げに金融刺激策が必要」		

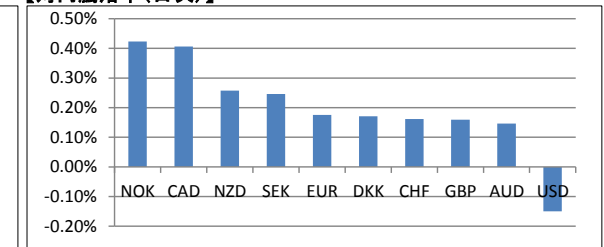
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月10日	17:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 PPI (前月比)	3月 0.1%	0.2%
	21:30	米 PPI (前年比)	3月 2.9%	2.8%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	2月 0.8%	1.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.50-107.50	1.2250-1.2350	130.80-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は株式市場が底堅い展開となったことで高値107.20まで上昇。しかしNY時間の午後に入るとトランプ米大統領の顧問弁護士のオフィスがFBIの強制捜査を受けたとの報道にややリスクオフの展開から106.80付近まで反落した。

本日のドル円は底堅い展開を予想する。米中間の貿易戦争に対する懸念は両国の貿易規模を考えると大きな影響は出ないとの見方が台頭していることや、3月下旬以降のドル円は徐々に下値を切り上げている。引き続き上昇基調となろう。

東京	先週末に再び広がった米中貿易摩擦懸念が週明けも意識される状況にドル円は上値の重い推移が継続。朝方に一時106.79まで下落し東京時間のドル円は106.95レベルでオープン。その後ドル円は106円台後半での上値の重い推移が続くも、前日比プラス圏とマイナスイクスの揉み合い推移が続いた日経平均株価が午後に入り上げ幅を拡大させるとドル円も107円台まで堅調に推移。米長期金利も小幅に上昇する中、ドル円は引けにかけても107円台での底堅い展開が続き、東京時間高値となる107.10まで上伸した後107.06レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.06レベルでオープンし、この日の高値となる107.20まで緩やかに上昇。黒田日銀総裁による再任の記者会見では、緩和政策の出口論に関して現時点では2%物価目標の実現にはなお距離があるとして出口のタイミングや手順を検討する局面にはないとしつつも、いずれ検討しなければならないだろうとした。後述部分が材料視される格好からドル円相場はやや円買いで反応し、107.07レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.2277レベルでオープン。中国が米国による追加関税措置に関する対抗措置として段階的な人民元切り下げを検討しているとの報道等、米中貿易摩擦懸念が意識される中で全般的にドルが売られる展開となり、1.2284レベルでNYに渡った。(ロンドンタイムズ 00531 444 179 角)
ニューヨーク	シリア情勢や米中貿易戦争に対する懸念は熾るものの、貿易戦争は経済に大きな影響を与えるようなことには最終的にはならないとの見方もあり、ダウ先物が堅調に推移する展開に円売りが強まり、ドル円は一時107.20まで戻し、107.07レベルでNYオープン。この日は米経済指標の発表や重要なイベントも予定されており、静かな取引になるとの見方が強まる中、ドル売りが優勢となり106.91まで下落。その後は株高を受けたクロス円の買いに107.11まで回復。午後は、堅調な米株式市場が上げ幅を一段と拡大させる展開となるも、トランプ大統領の長年の顧問弁護士であるコーエン氏のオフィスがFBIの強制捜査を受けたとの報道等から上げ幅を急速に縮小させ、ドル円はこの日の安値となる106.62まで下落し、106.80レベルでクロスした。一方、ECB年次報告発表を控えたユーロドルは1.2270付近での推移が続き、1.2284レベルでNYオープン。朝方はドル売りが優勢となる中、ドラギECB総裁が、「2018年のユーロ圏経済の拡大は引き続き強いと見ている」との効活と取れる発言を受けユーロ買いが強まり、1.2322まで上昇する。その後もドル売りが優勢となり、ユーロドルは1.2331まで上昇する。午後はドル売りが強まる一方、株式市場が上げ幅を縮小させる展開にユーロ円の売りも強まり、ユーロドルは1.2320付近での閑散な推移が続き、1.2321レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田家・鶴田